

第40回例会

2015.1.24(土) 19:00~21:00 (終了後、懇親会有り)

対象／医療関係者 参加料／2,000円(学生1,000円)

※当日受付にてお支払いください。(受付にて領収書を発行致します)

IOMは大森・東京歯科口腔外科、理事長新保悟を中心として、口腔医療に携わる全ての人達で作るスタディグループです。オープンな勉強会ですので、どなたでも気軽にご参加いただけます。どうぞ、お知り合いの先生もお誘い合わせの上、奮ってご参加ください。※テーマは毎月変わります。

第40回 主な演者

医療法人社団 恵生会 理事長

渡辺 孝夫先生

日本大学歯学部 卒業



講演内容

①渡辺先生は動物実験にてサイナスリフトの組織学的な所見を獲得され、今回は【上顎洞底挙上術の基礎と臨床】というテーマで、臨床に必要な基本的な知見をご提供して頂きます。※詳細は裏面に記載

②京セラメディカル様にて【POIインプラント(HAコーティング)】について、ご講演頂きます。

POIインプラント: 生体親和性の高い、高強度のチタン合金の表面をプラスト処理したもの ※参加者特典あります。

- ・神奈川歯科大学大学院 3D画像解剖学講座、客員教授
- ・日本大学歯学部病理学教室兼任講師
- ・日本口腔インプラント学会専門医
- ・ICOI(International Congress of Oral Implantologist) Fellow, Deplomate
- ・AO; Academy of Osseointegration; Active member etc...

会場

Luz大森 4F 入新井集会室
東京都大田区大森北1-10-14

お申し込み (お問合わせ)

IOM事務局／大森・東京歯科口腔外科

担当: 安田

TEL／FAX／E-mailで承ります。

●TEL: 03-5767-7505

●FAX: 03-5767-7508

(FAXの場合は下記ご記入の上、送付願います。)

●E-mail: soushinkai.yasuda@gmail.com

Facebook

当スタディグループのページ有り。【IOM】でご検索下さい。

Facebook上でも同イベントの申込を受けつけております。



第40回に参加 / 不参加

次回以降の案内 希望 / 希望しない

懇親会に参加 / 不参加
(会場階下の中華料理 会費制)

貴院/貴技工所/貴社名

ご参加者名

E-mail

ご住所 〒

TEL

()

FAX

()

上顎洞底挙上術の基礎と臨床

渡辺 孝夫

インプラント治療を行う歯科臨床家にとって上下顎臼歯部の高度に吸収した顎堤は今も昔も変わらない日常的な臨床病態です。そのような顎堤に安全に確実にインプラント埋入術を施す上で理解しなければいけない解剖学的構造として上顎臼歯部における上顎洞，および下顎臼歯部における下歯槽神経脈管束があると思います。1990年代に私の研究課題として上顎洞底部の解剖と骨造成，および下歯槽神経脈管束損傷を選びました。これらの研究は大学院生の学位論文として報告いたしました。現在も進行中です。今回は、この中から上顎洞底骨造成すなわちサイナスリフト（上顎洞底挙上術）についてお話を進めさせていただこうと考えています。

ご存知のように上顎洞にインプラント埋入のために骨造成を図るというアイデアは1970年代、Jenson先生らの報告から始まりました。これを現実的に臨床応用したのがフロリダ州セントピーツバーグで開業するO.H.Tatum先生です。Tatum先生の症例では、まず、上顎骨側壁に骨窓を形成し、骨窓を通して洞粘膜を剥離、挙上、その後、ウィング付きのチタンインプラントを側方から埋入する、という術式でした。骨補填材として床形成する際に得られた自家骨顆粒を使いました。インプラントは後に歯根型インプラントに、補填材も人工補填材、成長因子などが使われるようになって現在に至っています。日本では1989年に上野、根津の弥生会館でロマリンド大学のロバート先生の講演で紹介され、急速に広まりました。上顎洞粘膜を剥離、挙上するだけで骨が造成する、という事実には、驚愕したことを覚えています。

現在、サイナスリフトに関しては様々な術式、補填材が開発されていますが、骨造成あるいはオッセオインテグレーションのメカニズムなど基本的な問題はまだ十分に解明されているとは言い難いところがあります。ひとつにはサイナスリフトの組織学的な研究が少ないということが挙げられます。私たちが行ってきたイヌ前頭洞を使った動物実験でこの分野での基礎的な組織学的所見をいくつか獲得することができました。これらの所見を通して日常臨床で必ず必要で、有用なサイナスリフトに関する基本的な知見を提供できるかと思っています。